

\* 米国本社リリース参考訳

\* 公式リリースは[P & G米国本社サイト](#)をご覧ください。

## P & G 2022/23 事業年度 第1四半期(7-9月期)業績

第1四半期米国会計基準：純売上高1%増、希薄化後1株当たり純利益2%減の1.57ドル

第1四半期中核業績：本源的売上高7%増、1株当たり中核利益2%減の1.57ドル

2023事業年度通期の本源的売上高と1株当たり利益の見通しの範囲を維持

2022年10月19日 米国シンシナティ発

ザ・プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー(NYSE:PG)は、2023事業年度第1四半期の純売上高が、前年同期と比べ1%増の206億ドルであったと発表しました。為替レートと事業の買収・売却の影響を除いた本源的売上高は、7%増加しました。希薄化後1株当たり純利益は、前年同期に対し2%減少して1.57ドルになりました。

当該四半期の営業活動によるキャッシュフローは41億ドルでした。調整済フリーキャッシュフロー生産性は86%でした。当社は、約23億ドルの配当金、40億ドルの自社普通株式の買い戻しにより、合計約63億ドルを株主の皆様に戻しました。

単位：十億ドル、ただし1株当たりの数値を除く

| 第1四半期(7-9月期) |        |        |     |           |        |        |     |
|--------------|--------|--------|-----|-----------|--------|--------|-----|
| 米国会計基準       | 2023年度 | 2022年度 | %増減 | 会計基準外*    | 2023年度 | 2022年度 | %増減 |
| 純売上高         | \$20.6 | \$20.3 | 1%  | 本源的売上高    | —      | —      | 7%  |
| 希薄化後1株当たり利益  | \$1.57 | \$1.61 | -2% | 1株当たり中核利益 | \$1.57 | \$1.61 | -2% |

\* 定義と、その関連のある米国会計基準上の指標との差異説明は、添付書類1：米国会計原則で規定されない財務指標をご参照ください。

取締役会会長、社長兼最高経営責任者(CEO)ジョン・モーラーは、「当社は、2023事業年度第1四半期において、非常に厳しいコスト増加とビジネス環境の中で、堅調な業績を達成しました。こうした結果により、厳しい経営環境下にも関わらず、当社は、通期の本源的売上高と1株当たり利益の見通しを維持しています。当社は、製品のポートフォリオや優位性、生産性の向上、建設的な中断、柔軟で責任ある組織の形成という統合的な戦略の実行に、引き続き専念してまいります。これらの戦略により、当社は力強い成長を維持することが可能になります。引き続き、これらは当面の営業上の困難に対して立ち向かい、バランスの取れた成長を達成し、付加価値を生み出すための正しい戦略です」と述べています。

## 7-9月期について

2023事業年度第1四半期の純売上高は、前年同期比1%増の206億ドルでした。不利な為替レートは純売上高の増加に6%の悪影響を及ぼしました。事業の買収・売却の影響と為替レートの影響を除いた本源的売上高は、7%増加しました。本源的売上高の増加は、価格改

定の9%増、有利な製品ミックスの1%増によりもたらされ、販売数量の3%減により一部相殺されました。

| 2022年7-9月期              | 販売         | 為替         | 価格        |           |           |           | 本源的        | 本源的       |
|-------------------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 純売上高増減要因(1)             | 数量         | レート        | 改定        | ミックス      | その他(2)    | 純売上高      | 販売量        | 売上高       |
| ビューティー事業                | -1%        | -6%        | 7%        | -2%       | 2%        | —%        | -1%        | 4%        |
| グルーミング事業                | —%         | -8%        | 8%        | -4%       | —%        | -4%       | 1%         | 5%        |
| ヘルスケア事業                 | -2%        | -5%        | 6%        | 4%        | —%        | 3%        | -2%        | 8%        |
| ファブリック&<br>ホームケア事業      | -4%        | -6%        | 11%       | 1%        | -1%       | 1%        | -4%        | 8%        |
| ベビー、フェミニン&<br>ファミリーケア事業 | -3%        | -5%        | 8%        | 1%        | —%        | 1%        | -3%        | 6%        |
| <b>P &amp; G 全体</b>     | <b>-3%</b> | <b>-6%</b> | <b>9%</b> | <b>1%</b> | <b>—%</b> | <b>1%</b> | <b>-3%</b> | <b>7%</b> |

(1) これらの純売上高に係る増減割合は、継続的に適用している計算方法に基づく概算値です。

(2) その他には事業の買収・売却による売上ミックスの影響、販売数量と純売上高との差異分析に欠かせない端数処理が含まれています。

- ビューティー事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ4%成長しました。スキン&パーソナルケア部門の本源的売上高は、製品革新による販売数量の増加と価格改定が、「SK-II」の減少によるミックスの悪化で一部相殺され、一桁台半ばの増加となりました。ヘアケア部門の本源的売上高は、価格改定により増加したものの、市場縮小に関連した販売数量の減少で一部相殺されて、一桁台半ばの増加となりました。
- グルーミング事業セグメントの本源的売上高は、価格改定による効果が、電化製品市場の軟化によるミックスの悪化で一部相殺され、前年同期と比べ5%増加しました。
- ヘルスケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ8%増加しました。オーラルケア部門の本源的売上高は、市場の縮小による販売数量の減少があったものの、価格改定とプレミアム製品起因の有利な製品ミックスの改善により、一桁台前半の増加となりました。パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高は、価格改定、有利なミックス、ならびに、風邪やインフルエンザが平年より流行していることによる販売数量の増加を理由に、10%台後半の増加となりました。すべての地域で、パーソナルヘルスケア部門の本源的売上高が増えました。
- ファブリック&ホームケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ8%増加しました。ファブリックケア部門の本源的売上高は、価格改定による効果が、主にヨーロッパにおける市場シェアの軟化と市場の縮小による販売数量の減少で一部相殺されて、一桁台後半の増加となりました。ホームケア部門の本源的売上高は、価格改定による効果が、前年同期のクリーニング製品の消費増加の反動による販売数量の減少で一部

相殺されて、一桁台後半の増加となりました。すべての地域で、ホームケア部門の本源的売上高が増えました。

- ベビー、フェミニン&ファミリーケア事業セグメントの本源的売上高は、前年同期と比べ6%成長しました。ベビーケア部門の本源的売上高は、ロシアでの営業縮小を含めた販売数量の減少があったものの、価格改定により一部相殺されて、一桁台半ばの増加となりました。フェミニンケア部門の本源的売上高は、価格改定と有利な地域ミックスによる効果が、ロシアでの営業縮小に起因する販売数量の減少で一部相殺され、二桁台の増加となりました。本源的売上高は、すべての地域で増加しました。ファミリーケア部門の本源的売上高は、価格改定による効果が、市場の縮小と市場シェアの軟化により一部相殺されて、一桁台前半の増加となりました。

## 2023 事業年度の見通し

P & Gは、2023 事業年度通期のすべてを含めた純売上高見通しを前年度比3%減少から1%減少と引き下げました。本源的売上高が3~5%の範囲で増加するとの見通しについては維持しました。為替レートは、当事業年度通期の報告書上の純売上高の増加に対し、6%の悪影響を及ぼす見込みです。

## P & Gについて

P & Gは、高い信頼と優れた品質で、市場をリードする製品ブランドを世界中の人々にお届けしています。それらのブランドには、オールウェイズ®、アンビピュア®、アリエール®、バウンティ®、シャーミン®、クレスト®、ドーン®、ダウニー®、フェアリー®、ファブリーズ®、ゲイン®、ジレット®、ヘッド&ショルダーズ®、レノア®、オレイ®、オーラルB®、パンパス®、パンテーン®、SK-II®、タイド®、ヴイックス®、ウイスパー®などが含まれます。P & Gは約70カ国に現地事業拠点を置き、世界的に事業を展開しています。P & Gとその製品について、最新の詳しい情報は、米国本社ホームページ <https://us.pg.com> (英語) をご参照ください。その他のP & Gのニュースについては、<https://us.pg.com/blogs/> (英語) をご参照ください。